

環境経営レポート

2022年度（第61期）

（2022年4月1日～2023年3月31日）

作成日2023年6月9日



株式会社 **山岸製作所**

住所 〒381-0045 長野県長野市桐原二丁目6番21号

発行責任者 代表取締役社長 山岸 章

連絡先 TEL 026-241-3115 FAX 026-244-3002

e-mail yamagishi@yamagishi-s.co.jp

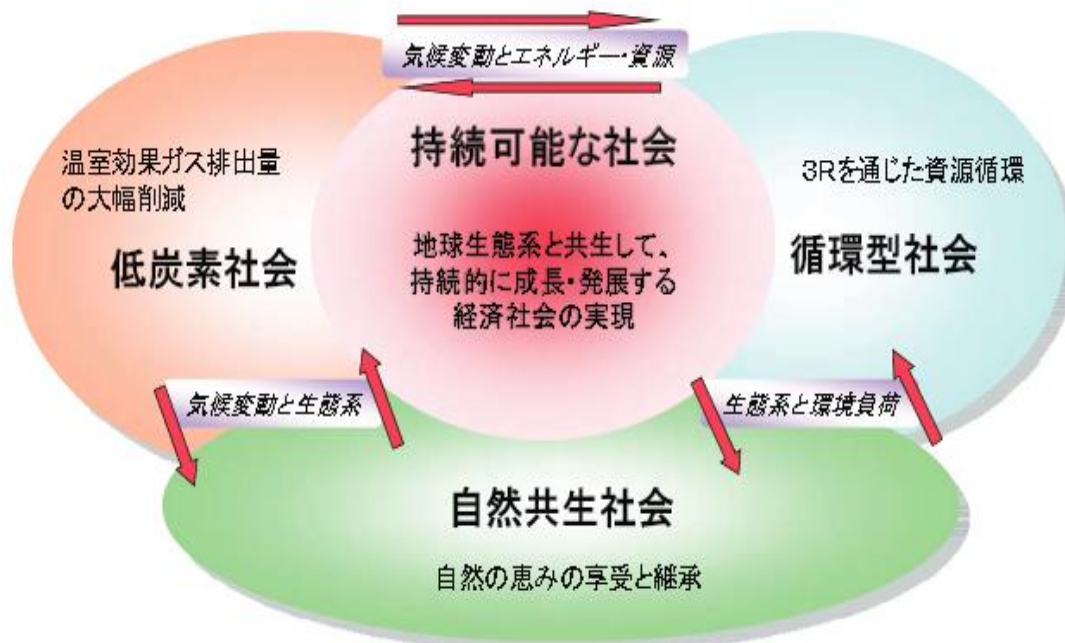
目次

1. 組織の概要（対象範囲）
2. 事業規模
3. マテリアルバランス

4. 環境経営方針
5. 株式会社山岸製作所のSDGs
6. 建物施設配置図
7. 環境経営目標達成の実施体制
8. 環境経営目標の設定、その実績と評価、当年予測と次年度目標
9. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営計画への取組計画
10. 主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無
11. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録
12. 内部コミュニケーション
13. 環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置
14. 代表者による全体の評価と見直し、指示

持続可能な社会を目指しています（環境保全活動）

図：持続可能な社会に向けた取組（統合的取組の展開）



(出典)21世紀環境立国戦略(平成19年6月1日閣議決定)

1. 組織の概要

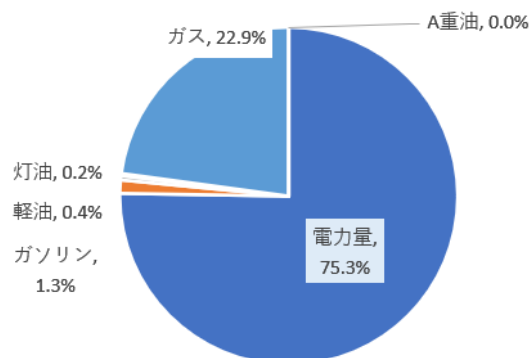
事業所名	株式会社山岸製作所
代表者名	山岸 章
事業所の所在地	長野県長野市桐原二丁目 6 番 21 号
事業内容	自動車部品・その他工業向け機械部品製造
設立、資本金	設立 1963 年 4 月 11 日 資本金 7,200 万円
エコアクション 21	<ul style="list-style-type: none"> ・対象 ・管理責任者 ・連絡先
	<ul style="list-style-type: none"> ・適用範囲 本社・工場 全組織・全活動 ・管理責任者 山岸 章 ・連絡先 TEL 026-241-3115 FAX 026-244-3002

2. 事業の概要

当レポートは、2022 年 4 月～2023 年 3 月の実績評価です


		基準年	前年	当年 予測
		2017 年	2022 年	2023 年
売上高	万円	113,852	131,840	113,259
生産高	m ²	54,259	120,645	52,192
人員	人員	49	49	55

当年 2023 年



3. マテリアルバランス

※重油、化学物質は使用していない。原材料、製品、再生利用は集計していない。一般特管、産廃特管はない

インプット		マテリアルバランス 2023年期末予測		アウトプット		
<エネルギー使用量>		<事業活動>		<生産量>		
電力量	kWh	943,829	<ul style="list-style-type: none"> ・工程設計プロセス ・製造プロセス ・購買プロセス 	製品	0	0
ガソリン	ℓ	3,330		有価物	Kg	0
軽油	ℓ	956				
灯油	ℓ	507				
ガス	m ³	64,348				
A重油	ℓ	0				
<物質他 使用量>		<環境負荷>				
原材料		0	有価物	Kg	0	
水使用量	m ³	718	グリーン購入	件数	0	
化学物資	kg	0				
				CO2排出量	Kg-Co2	608,203
				総排水量	m ³	718
				一般廃棄物	Kg	2,970
				一般特管	Kg	0
				産業廃棄物	Kg	42,732
				産廃特管	Kg	0
				化学物資	kg	0

4. 環境経営方針

環境経営理念

当社は事業活動において、長野の豊かな自然環境を保全し、SDGsの取り組みを通して、環境に優しい積極的な環境保全活動を行います。



環境経営方針

1. 当社の事業活動・製品およびサービスに関わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
2. 当社の事業活動・製品およびサービスに関わる環境への影響を考慮し、環境汚染の未然防止および、環境保全の継続的改善に取り組みます。
3. 環境経営方針実現のため、下記の事項を重点テーマとして取り組んでまいります。
 - (1) 電力・ガス・水等の資源を大切に使い、省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素の低減に努めます。
 - (2) 3R(リデュース、リサイクル、リユース)に取り組み、廃棄物削減に努めます。
 - (3) 不具合品を発生させない品質管理体制を確立し、全従業員の品質意識の向上を図ります。
4. 本環境経営方針は、全社員に周知するとともに、外部の方へも公開します。



2018年10月1日
株式会社山岸製作所
代表取締役社長 山岸 章



株式会社 **山岸製作所**

5.株式会社山岸製作所のSDGs

環境経営を変革の道具として、企業価値の追求を目指す
 「お客様の身になって、ものづくりをします」

変革の戦略

- ・技術重視の人材育成（教育）強化
- ・競争力ある設備投資（生産性向上）
- ・成果の出るEMS（PDCA）
不具合、自立的改善活動

4：教育 生涯学習
 8：経済成長と雇用 生産的雇用と働き甲斐
 12：持続可能な消費 生産消費形態
 13：気候変動 CO2削減
 17：実施手段 パートナリッ













世界の課題の同時解決

- ・世界の課題解決に役立っている

1；貧困 価値ある製品
 5；ジェンダー 平等
 3；保健 健康的生活






11：持続可能な都市 人間移住の実現
 12：持続可能な消費 生産消費形態
 16：平和 包摂的制度

自社の強みを継続改善

- ・働き方（労働災害安全 総理大臣賞受賞歴）
- ・人を重視した経営（能力引き出し）
- ・大型設備投資で製品加工の差別化
- ・安定したQCD改善能力
- ・EMSによる環境負荷の低減
- ・太陽光発電によるCO2削減

5：ジェンダー 平等
 4：教育 生涯学習
 7：エネルギー 太陽光
 8：経済成長と雇用 生産的雇用と働き甲斐
 13：気候変動 CO2削減

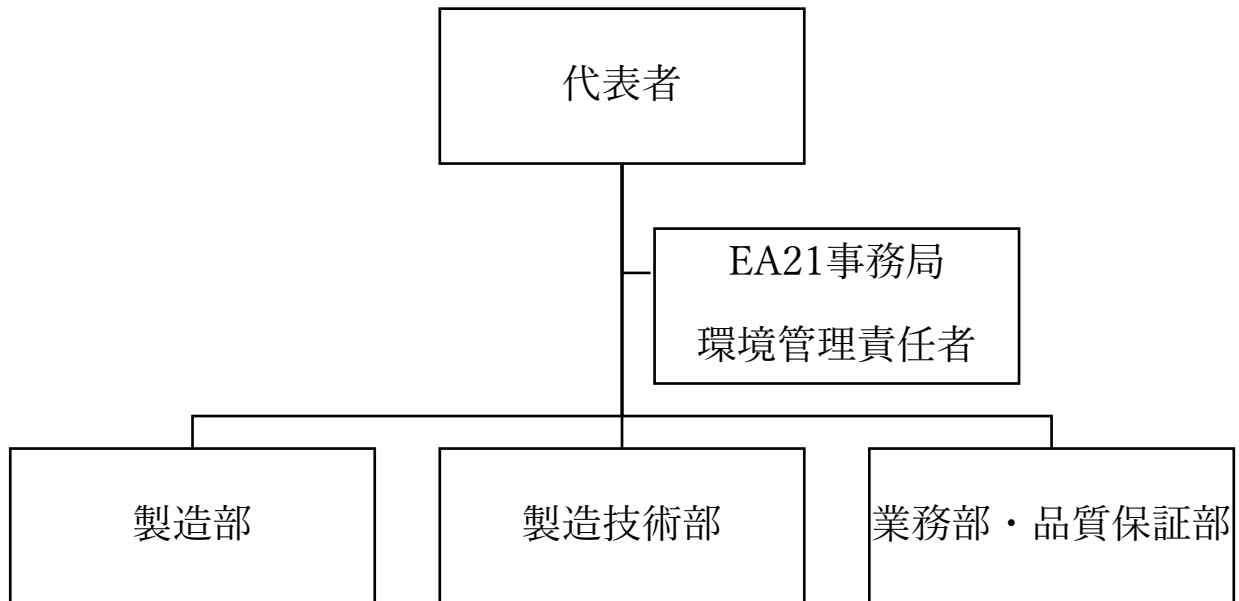






再生可能エネルギーの活用 太陽光発電所 49 kWh



7. 環境経営目標達成の実施体制

エコアクション 21(EA21)環境活動の実施体制



EA21 組織の役割と権限

代表者	環境マネジメントシステムの最高責任者 ・環境経営方針の策定 ・EA21 運用に必要な経営資源(人、資金、機器設備)の提供 ・環境経営レポートの承認 ・EA21 全体の有効性の評価、見直し、改善の指示
環境管理責任者	環境経営マネジメントシステムの構築、運用、見直し ・EA21 の手順の確立、環境経営レポートの策定 ・環境への負荷と取組状況の把握と評価 ・環境経営目標、環境経営計画の取りまとめ、代表者へ実施状況の報告 ・緊急事態の想定と訓練、環境関連法規の特定と遵守、教育の計画と実施
部門責任者	環境方針の周知 ・環境経営目標を達成するための環境経営計画の策定と評価(PDCA) ・職場のチームワークによる環境負荷の低減、生産性向上の改善活動の指揮
全従業員	環境経営方針の理解と地域に迷惑をかけない(環境保全)自律的行動 ・個人目標に取り組み、環境負荷軽減と生産性向上に積極的に参加する

8. 環境経営目標の設定、実績と評価 当年予測値と次年度目標

評価 ○100%達成、△95%達成、×95%以下

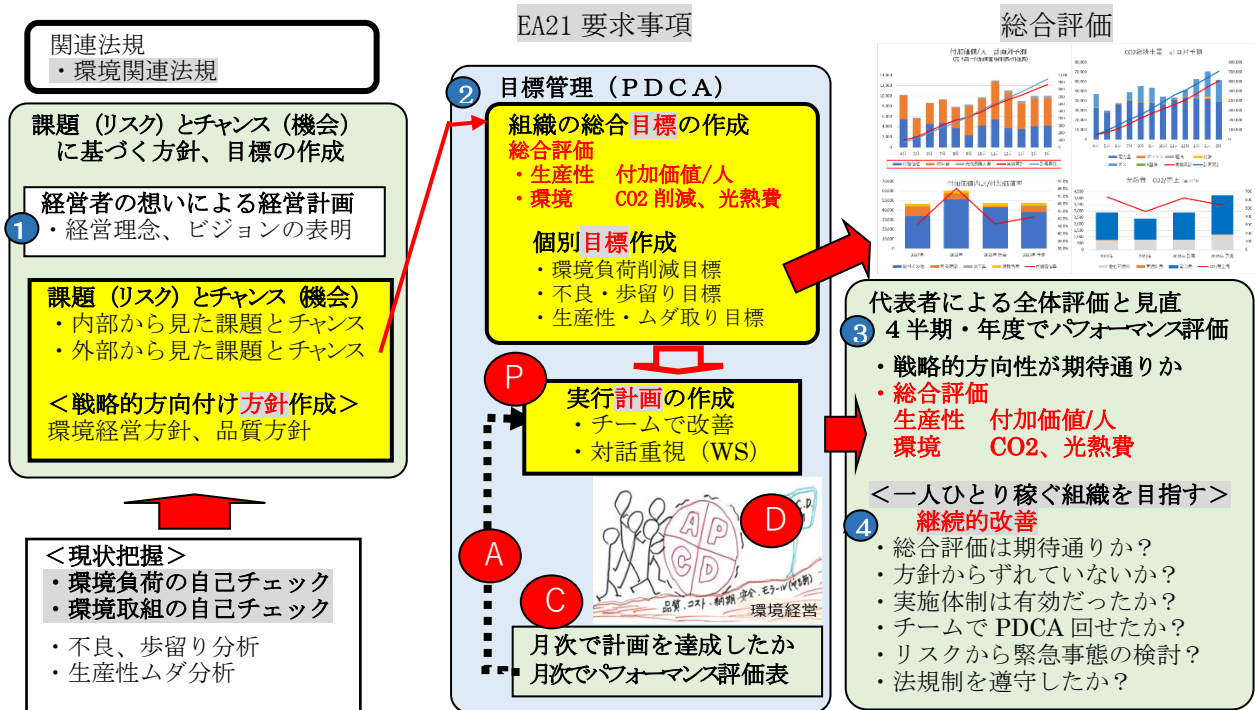
※環境経営レポート作成は、前年実績による

環境経営（環境評価）		基準年実績 2017年	2022年度 第61期			2023年度 第62期			第63期
			前年目標 2022年	前年実績 2022年	目標対比 実績評価	当年目標 2023年	当年予測 2023年	目標対比 予測評価	次年度目標 2024年
項目	単位								
CO2排出量	Kg-CO2	726,091	710,000	607,861	○	710,000	608,203	○	493,000
CO2/売上高	Kg-CO2	638	551	461	○	624	537	○	469
光熱費	万円	2,848	2,848	2,408	○	2,848	4,204	×	2,642
★電力量	kWh	1,231,467	1,067,340	968,554	○	1,067,340	943,829	○	782,000
★ガソリン	ℓ	2,997	2,997	3,413	×	2,997	3,330	×	3,412
★軽油	ℓ	3,056	1,497	955	○	3,058	956	○	1,100
★総排水量	m ³	885	835	775	○	835	718	○	753
★一般廃棄物	Kg	2,505	2,480	4,308	×	2,749	4,020	×	2,280
★産業廃棄物	Kg	49,502	45,000	43,072	○	43,976	46,860	×	40,544

※ CO2 換算係数 2017 年度丸紅新電力 0.485Kg-CO2/kWh（調整後排出係数）

（注）8. 環境経営目標の取組計画には、環境経営目標項目の他に本来業務改善項目が含まれています

「よい会社」を目指した目標管理（PDCA）の進め方①～④



9. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営への取組計画

評価基準 ○100%達成 △95%達成 ✖95%以下

分類	環境目標項目 本来改善項目	経営環境への取組の活動（環境活動レポート作成年）			次年度環境への取組の計画	
		2022年4月～2023年3月			2023年4月～2024年3月	
		評価	当年度計画	評価コメント	次年度計画	担当者
二酸化炭素削減	総CO2排出量 原単位（売上高）	○	電力の省エネを重視する 総CO2排出量 目標値 710,000kg - Co2 原単位（売上高） 目標値 551 kg - Co2	目標値よりもCO2低く抑えられた。 総CO2排出量 607,861kg - Co2 原単位（売上高） 461 kg - Co2	電力の省エネを重視する ・加工時間短縮活動 ・稼働時間、稼働率、稼ぎ高向上 ・工程内不良の低減	山岸 寺島 佐藤学 佐藤学・高野
	1) 電力削減	○	・作業場所以外の消灯の徹底 ・昼休み、休憩時間のこまめな消灯 ・エアコン温度設定 事務所：夏27℃ 冬23℃、 工場：夏27℃ 冬25℃	・例年になく初夏から猛暑が続き、また、寒さも早く感じ冬は連日氷点下の厳しい寒さで使用量はあまり減少できなかった。 ・エアコン温度設定の徹底を図った。	・作業場所以外の消灯の徹底 ・昼休み、休憩時間のこまめな消灯 ・エアコン温度設定 事務所：夏27℃ 冬23℃、工場：夏27℃ 冬25℃	松本・大澤 松本・大澤 松本・大澤
	2) ガソリン	✖	・エコドライブ ・配送ルートの効率化	・ガソリン使用量は目標値を上回ってしまった。	・フォークリフトをガソリン仕様から環境を鑑みバッテリー仕様変更を検討する。	北村

(注) 本来業務（日常業務）と統合しているため、7. 環境経営目標以外の本来業務改善項目が含まれています。

環境経営目標	環境経営計画の取組内容		次年度環境経営計画の取組内容	
	管理項目・実施事項	評価	管理項目・実施事項	担当者
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2)	①使用電力量削減 ・電力消費量削減	○	①使用電力量削減 ・電力消費量削減 782,000Kwh (前年比5%減)	山岸
	・工作機械の待機電力の削減と稼働率向上	○	・工作機械の待機電力の削減と稼働率向上	佐藤宏
	・工作機械及び空調設備のフィルター清掃	◎	・工作機械及び空調設備のフィルター清掃	松本
	・空調機使用規制の設定 (適正温度・使用時間・管理責任者)	◎	・空調機使用規制の設定 (適正温度・使用時間・管理責任者)	松本・大澤
	・未使用設備の電源 OFF 活動	◎	・未使用設備の電源 OFF 活動	松本・大澤・木島
	・加工時間の短縮	◎	・加工時間の短縮	寺島
	②灯油・軽油・ガソリン使用量削減 ・運送便の最適化。臨時便を出さないようにする。	○	②灯油・軽油・ガソリン使用量削減 ・運送便の最適化。臨時便を出さないようにする。	北村
	・社用車の使用は取り組みを継続する。 ・フォークリフトの使用状況を把握する。	○	・社用車の使用は取り組みを継続する。 ・フォークリフトの使用状況を把握する。	北村・神戸・北島
廃棄物排出量の削減	①可燃物廃棄量削減 ・古紙、ダンボール等のリサイクル化	○	①可燃物廃棄量削減 ・古紙、ダンボール等のリサイクル化	高野
	③金属廃棄物量削減 ・不良品スクラップ削減(不具合品削減)	◎	②金属廃棄物量削減 ・不良品スクラップ削減(不具合品削減)	佐藤学・佐藤宏
	・切削工具の購入量削減と在庫縮減	○	・切削工具の購入量削減と在庫縮減	佐藤学・佐藤宏
	・切削工具の再利用化	○	・切削工具の再利用化	佐藤学・佐藤宏
	③廃油量削減 ・切削油の長寿命化、再利用化	◎	③廃油量削減 ・切削油の長寿命化、再利用化	大澤
	①使用水道料削減 ・水溶性切削油の濃度管理	◎	①使用水道料削減 ・水溶性切削油の濃度管理	大澤
水資源投入量削減(m ³)				
人材育成	・多能工化に取り組む	○	・多能工化に取り組む	佐藤学・寺島・高野
会社内のクリーン化	①工場内、敷地内の3S(整理・整頓・清掃)活動	◎	①工場内並びに設備	松本・大澤
			②倉庫内並びに周辺	高野・北村
			③駐車場並びに敷地内	神戸・北島
	②会社周辺の清掃活動	◎	①北長野通りの清掃活動	神戸・北島

10. 主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無

環境法規等遵守評価記録

2023年3月31日

環境法規制等の担当者は年1回(11月)下記の遵守事項をチェックし、総務部長に報告し社長に確認を得る。不適合があった場合は別紙にて是正状況を報告する。

*環境関連法規の遵守事項は行政からの連絡及び(一社)長野県産業環境保全協会発行の環境速報を参考に最新の状態を維持する。

チェック結果 適合 : ○
 記入方法 不適合 : ×
 適用外 : -

不適合の場合の処置は不適合報告書による
 法規の適用がない場合

社長	総務	実施者
山岸	神戸	神戸

法規名	適用	対象事項	遵守事項	チェック結果	不適合
廃棄物処理法	適用	産業廃棄物 廃プラ、金属くず等	廃棄物保管基準 囲いの設置、掲示板(60cm×60cm、産業廃棄物保管所であることの旨を記す、廃棄物の種類、責任者名、連絡先)、汚水等の流出防止	○	
			委託契約書 収集運搬業者と中間処理業者別個の契約、再委託の禁止、業者許可証の確認、契約終了後5年間保存	○	
			マニフェストの確認及び保管 毎回のマニフェストの発行、B2・D・E表の確認、マニフェストの保存(5年間)	○	
			マニフェストの発行状況の年1回報告 (電子マニフェストの場合は不要) 前年度分を6月末までに長野市廃棄物対策課への報告	○	
			有価で古物商に出しているものについては古物商の許可証のみ確認。古物商に料金を支払って出している産業廃棄物(金属くず、ガラスくず)については契約書にて契約必要。	○	
			水銀使用製品産業廃棄物 1. 水銀電池(品番が「NR」「MR」で始まるもの) 2. 空気亜鉛電池(品番が「PR」で始まるもの) 3. 蛍光灯;直管形:環型(品番が「F」で始まるもの)業者の許可証の確認、マニフェストの確認・保管 4. 電球形蛍光灯(品番が「EF」で始まるもの)	○	
なし	特別管理産業廃棄物	対象となる廃棄物は通常は排出されない(廃酸、廃アルカリ、廃灯油等)			
適用	一般廃棄物 木くず、紙くず、動植物性残さ	業者の許可証の確認		○	
騒音規制法・振動規制法	適用	コンプレッサー 37kW 4台	騒音規制法規制基準 朝夕65dB、昼間65dB、夜間55dB 振動規制法規制基準 昼間70dB、夜間65dB 長野市届出	○	
フロン排出抑制法	適用	業務用空調機	7.5kW以上50kW以下のエアコン 3年に1回定期点検(業者)、3か月1回簡易点検及び記録 7.5kW未満のエアコン 3か月に1回簡易点検、記録 廃棄時資格のある業者への引き渡し、費用負担	○	
消防法	なし	灯油タンク(198L)	消防法の少量危険物保管としての届出等の義務はない		
省エネ法	なし	エネルギーの使用	年間の総エネルギー使用量 原油換算1,500KL以上である 定期報告(6月)、エネルギー管理員の選任		
長野市公害防止条例		業務用空調機 コンプレッサー	コンプレッサー3.75kW以上7.5kW未満届出、規制遵守 空調機 7.5kW以上届出、規制基準遵守(騒音規制法と同じ)	○	
その他の要求事項		対象事項	遵守事項	チェック	不適合の内容
市との協定等		なし	なし		
顧客からの要求	適用	製品含有有害物質	ELV、RoHS、REACH等 なし		

※管理責任者による遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありません。地域及び当年の関係当局からの訴訟及び苦情及び過去3年にわたって訴訟及び苦情はありません。

【現場改善活動の様子】



【現場改善活動の様子】



【クーラントタンク機械清掃活動】



【廃棄物削減活動・切削工具研磨による再利用】



【再利用する切削工具】



【地域貢献活動・会社周辺清掃】



11. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録

緊急事態の想定	手順書	訓練頻度	訓練実施日	事故(いつ、状況、対応策の検証)
緊急連絡網確認	緊急事態対応手順書 夜間・休日の緊急連絡網 安否確認システムの活用	年1回実施	2023.3.21	なし
コンプレッサー室	緊急事態対応手順書 コンプレッサー関係応急処置指示書	年1回実施	2023.3.16	
油置場	緊急事態対応手順書 油漏れ応急処置指示書	年1回実施	2023.3.10	なし
汚泥	緊急事態対応手順書 汚泥関係応急処置指示書	年1回実施	2023.3.10	なし
油・廃油	緊急事態対応手順書 油・廃油関係応急処置指示書	年1回実施	2023.3.10	なし

12. 社内コミュニケーション

遵守の評価 2023年5月22日

会議体	内容	頻度	責任者
朝礼	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務連絡事項 ・品質及び環境の情報の共有化 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客からの情報 ・品質及び環境の不具合問題の原因追求及び対応 ・社員教育 <ul style="list-style-type: none"> ・法規制の遵守 ・品質及び環境目標、実施、評価、対応(PDCA) ・5S、作業安全 ・省エネ、エコドライブ 	毎週	山岸
代表者による見直し	EA21に基づく環境経営全体の有効性の評価 方針、目標、計画及び実施体制について評価 必要な方策の指示をする。	毎月の目標報告会	山岸

13. 環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置

問題点	是正処置及び予防処置	いつ	責任者
外部からの苦情	外部からの苦情はありません。	2023年3月31日 現在	神戸・北島
是正処置	会社周辺の清掃・草取り	2023年3月31日	神戸・北島・山岸

14. 代表者による全体の評価と見直し、指示

2023年5月22日

会議体	内容
総合評価	2022年度は7月から電力料金料金が大幅に増加してしまい、会社として大変大きな負担となってしまった。 各部署で節電に取り組んではいるが金額負担は重く、継続して節電に取り組んでいく。 従来にも増して、こまめに照明機器の on/off、運用面、管理面で諸活動に取り組んでいき、より一層の合理化を推進していきたいと思います。
方針、目標、計画の評価	CO2 排出量は何とか目標値を達成することができました。 今後も小さくてもいろいろな活動に取り組んでいきたい。
次年度への取組	毎年の環境負荷低減活動は、前年の環境目標実績以下を目指したいと思います。 品質クレーム、社内不良削減を重視し、是正処置、効果、教育を最優先に取り組みます。 環境経営方針、目標に基づき EA21 活動を行ってまいります。

項目	評価・結果	見直し指示	
	是正処置	担当者	期限
1 環境方針 目標 活動計画	方針・目標・活動計画については、前年の活動を継続。	EA21 環境経営システム等は継続していく。 環境負荷については、少しずつ減少の傾向が見られる。さらに工夫し効果を高める。	
	各部方針の結果を毎月の報告会で確認する。	各部長	2024年3月末
2 取組状況の確認 問題の是正	工程内及び社内不良の発生・流出防止については、改善されている。 更なる向上に取り組んでまいりたい。	主要取引先であるいすゞ自動車様の品質評価はSクラスを維持できてよかった。 IJTT 様の納入品質基準を満たしている 「オールブルー認定証」を頂きました。 今後更に、品質最優先の意識を向上する取り組みを行っていききたい。	
	製造工程内では品質チェックシートを確認する。 作業手順書の作成、整備、遵守徹底。	松本・大澤	2024年3月末
3 緊急事態 避難訓練 消火訓練	消防署立入調査⇒異常なし 緊急連絡網の確認。	全社員に教育訓練を行い、維持管理を更に行っていく。	
	手順書の基づき、教育・訓練を行う。	各部長・課長	2024年3月末
4 実施体制及び設備	適材適所であり、設備等も計画通り実施済み。	全員参加の活動に取り組み、環境意識の向上を図っていききたい。	
	定期的に朝礼で報告し、環境意識の向上を浸透させる。	山岸・各部長	2024年3月末
5 法令、その他要求事項	違反、苦情等の報告無し。	条例、法規の調査手段は継続していく。	
	環境法規等遵守評価に基づき、確認する。	総務部	2024年3月末
6 SDGs 達成に向けた 宣言書	CO2 排出量削減は、高効率の GHP,LED に入れ替えを進めてきており、目標を達成できた。	廃棄物排出量を年ごとに少しでも減少させていききたい。 今期は工場内の旧型の GHP を高効率の新型 GHP に入れ替えを検討する。	
	障がい者、高齢者、女性社員雇用については、12%まで増加することが出来た。 2022年7月7日に、長野ろう学校の生徒さん・教職員の皆さんを工場見学で受け入れを行い、有意義な交流を行うことができた。 2022年度は長野信用金庫様の「地域みらい応援私募債」を活用させて頂き、国立長野高専に寄付をさせて頂きました。	引き続き障がい者雇用に力を入れていききたい。 今後も継続して工場見学を実施してまいりたい。 2023年度は金融機関殿の私募債を活用させて頂き、長野ろう学校に寄付を行いたい。	

	<p>廃棄物の削減については、再利用できるものはないか、確認していく。</p> <p>【暮らしのなかのエコアクション】【知的障害について】ハンドブックを基に啓蒙活動を行う。 【信州ゼロカーボンBOOK】を従業員に配布し、読み合わせを行い環境について継続的に意識の高揚を図った。</p> 	山岸・各部長	2024年3月末
<p>代表者による全体のコメント</p>	<p>各項目削減目標については、ある程度の効果が見られる為、現状維持とします。 毎年の環境負荷低減活動については、前年の環境目標実績以下を目指します。 品質不具合の削減に取り組み、是正処置・予防処置・教育訓練を行って品質最優先の意識を向上していきます。 EA21 環境経営システムの主要活動は継続して取り組んでまいります。</p>		

製造部で取り組んでいるクーラント再利用活動



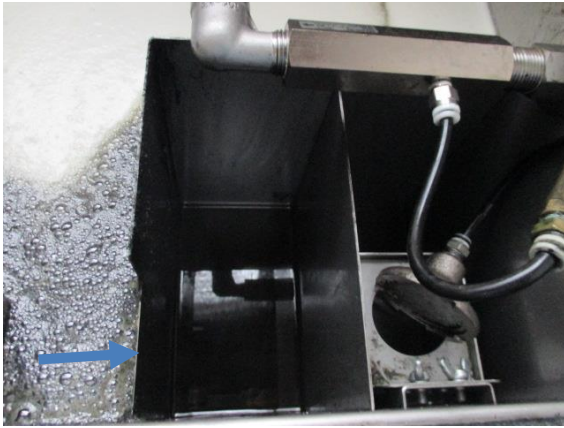
脱油機で脱油した切削油を青いタンクに入れ大き目の切粉を金網でとる下の蛇口から切削油を取り出す



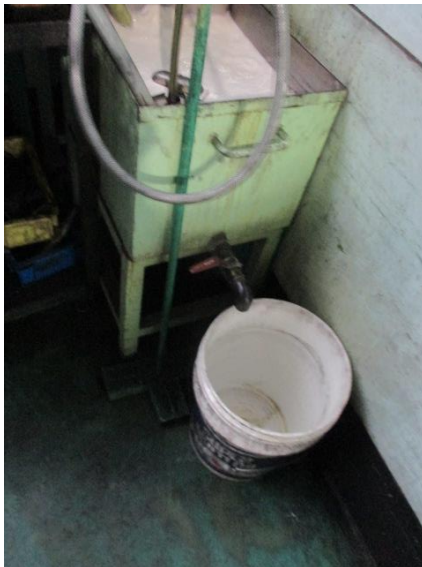
青いタンクから取り出した切削油を緑タンクに入れる(約35ℓ)



浮上油除去装置を使い浮上油を分離させる約3時間巡回させる



黒い油を横の層に入れる



3時間後、緑タンクの蛇口から切削油を取り出す



各機械へ補充する



装置の全体写真